

ボ ッ チ ャ 実 施 要 領

1 競技規則

本大会の競技規則は、令和8年度全国障害者スポーツ大会競技規則及び全日本ボッチャ協会競技規則 2025-2028 v1.0 によるもののほか、以下に定めてある本大会独自ルールを優先して行う。

2 競技方法

- (1) 座位選手は車いす又は椅子座位、立位選手は立位（杖等使用可）での個人戦とする。
- (2) 1試合2エンド制、同点の場合は引き分けとする。勝敗を決する必要がある順位決定戦・決勝トーナメント戦の場合は、各サイド1分間のファイナルショットにより勝敗を決定する。
- (3) 試合時間は1エンド6分、ウォームアップは2分とする。
- (4) 1エンド目は赤サイドが先攻、2エンド目は青サイドが先攻でジャックボールを投球し、エンドを開始する。
- (5) 選手は、6個のカラーボールを使用し、赤サイドは3番、青サイドは4番のスローイングボックスとする。
- (6) 予選リーグ戦を行い、各パート上位者による決勝トーナメントを行う。（上位者の人数は大会当日に発表する。）各パートの順位は、勝ち点、直接対決、得失点差の順で判断し、全て同率の場合は、該当選手によるファイナルショットで決定する。
（勝ち点 勝：2点 引き分け：1点 敗：0点）
- (7) 当日欠場選手が生じた場合には、リーグ内での組合せ変更を審判長とコート主任が行い、不戦勝が生じないようにする。途中欠場等でやむを得ず不戦勝が生じた場合は、勝ち点2とし、得点は3－0での勝利とする。

3 開始式

開始式は、令和8年5月10日（日）に、競技会場にて行う。

4 表彰

表彰は、立位、座位の部で1位から3位までを表彰する。

5 招 集

- (1) 招集開始時刻は試合開始時刻の10分前とし、コートに隣接する選手控えエリアで待機すること。
- (2) 前の試合が終了次第、選手の確認と先攻・後攻等を決める。

6 その他

- (1) 審判によるコイントスで、勝った方が先攻・後攻のどちらかを選択する。
- (2) 全てのボールの投球後、またはエンド時間終了後に、審判は選手に異論がない事を確認してから得点を確定し、エンドの終了を宣言する。
- (3) ヴァイオレーション（ファウル）が生じた場合は、ボールのリトラクション（除去）のみとし、ペナルティースローは実施しない。（主なヴァイオレーション：ラインクロス、投球準備違反、コミュニケーション違反、相手サイドへの妨害行為など）
- (4) 審判がいずれかのサイドの投球指示を出したあと、投球を指示されていないサイドにおいては投球及び投球準備（ボールを揉む、狙いを定める、投球に関するコミュニケーション等の行為）をしてはならない。これらは、ヴァイオレーション扱いとなる。
- (5) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。